

報道関係各位

博報堂  
早稲田大学  
2011年10月18日

**HAKUHODO UNIV. 次世代電動生活™ラボと  
早稲田大学 環境総合研究センター、  
次世代まちづくりに関する共同研究プロジェクトを発足**

博報堂の企業内大学 HAKUHODO UNIV.(通称:博報堂大学)次世代電動生活™ラボと早稲田大学環境総合センター(理工学術院創造理工学部建築学科後藤春彦教授)は、中小都市を対象とした、次世代まちづくりに関する共同研究プロジェクトを発足致しました。

現在、スマートシティ(環境配慮型都市)に代表される次世代型まちづくりに関する研究は大都市を想定した研究が進んでいますが、高齢化対策や産業振興など、複雑な課題を有する中小都市を想定した研究は未だに不十分な段階にとどまっています。共同研究プロジェクトでは、今後本格的に取り組む必要性が高いこの分野を対象として共同研究を行います。

スマートシティにおける生活者意識・行動を研究してきたHAKUHODO UNIV.次世代電動生活™ラボは、生活者調査から導かれるニーズ予測やまちづくりのコンセプト策定に関するノウハウを提供し、都市計画・都市景観などの都市工学分野や次世代エネルギー分野において最先端の研究実績を有する早稲田大学理工学術院後藤春彦研究室は、次世代エネルギー技術に対応した都市インフラに関する研究成果を提供します。

共同研究プロジェクトの成果は、本庄市が早稲田大学本庄キャンパスを中心に進めている本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業※に関する実証実験に活用し、地方都市における新たな次世代型まちづくりモデルを創出することを目指します。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

博報堂 広報室	藤井・西原	TEL:03-6441-6161	FAX:03-6441-6166
早稲田大学 広報課	木綿・内田	TEL:03-3202-5454	FAX:03-3202-9435

<共同研究プロジェクト概要>

- ・研究テーマ : 中小都市における次世代型まちづくりに関する共同研究
  - ・研究内容 : 整備途上にある本庄早稲田駅周辺地区における土地区画整理事業を通じて、都市工学的な視点に加え、地域生活者側のニーズを踏まえた都市計画研究を実施し、地方都市における新たな次世代型まちづくりモデルを創出する。
  - ・主たる研究場所 : 早稲田大学本庄キャンパス 環境総合研究センター
  - ・研究期間(予定) : 2011年10月18日～2013年3月31日を予定
  - ・プロジェクトメンバー : HAKUHODO UNIV.  
次世代電動生活™ラボ
- |             |      |        |
|-------------|------|--------|
|             | リーダー | 深谷 信介  |
|             | メンバー | 大住 耕司  |
|             | メンバー | 迎田 章男  |
|             | メンバー | 高井 里恵  |
|             |      | 他      |
| 環境総合研究センター  |      |        |
| 早稲田大学 理工学術院 | 教授   | 後藤 春彦  |
|             | 准教授  | 高口 洋人  |
|             | 准教授  | 小野田 弘士 |
|             | 助教   | 切川 卓也  |

※本庄早稲田駅周辺土地区画整理事業

本庄地方拠点都市地域の中核地区として、本庄早稲田駅周辺における新たな拠点形成を進めるために、独立行政法人都市再生機構が、平成 25 年度の完成を目指して駅前広場、幹線道路、公園等の公共施設及び宅地等の土地区画整理(約 64.6ha)を行う整備事業です。

本庄市は早稲田大学本庄キャンパス(早稲田リサーチパーク)と本事業地を含む地域の将来の街づくり構想として「本庄早稲田の杜づくり」を提唱し、豊かな自然環境との共生した環境調和型のまち、安全で安心な生活・ユニバーサルデザインのまち、将来の子供・孫達に受け継ぐことのできる魅力あるまちづくりを市民、民間、行政機関と協働で推進しています。